

2025年3月期 第1四半期
決算補足説明資料

株式会社 **日本トリム**
証券コード：6788(東証プライム)

2024年8月7日

第1四半期
過去最高

売上高

5,459百万円

(前年同期比 13.8%増)

経常利益

814百万円

(前年同期比 37.5%増)

親会社株主に帰属する
四半期純利益

568百万円

(前年同期比 33.7%増)

売上高 第1四半期として過去最高を更新！ 通期過去最高収益に向け順調に進捗。

● 整水器

主軸の職域販売は売上高1,170百万円（前年同期比5.8%増）。セミナー回数はコロナ禍前の水準に回復。スポーツ・美容関連も好調。特にスポーツ関連は様々な種目の団体へのアプローチが進み、販売効率も良く、直販部門の柱の一つへと成長期待が高まる。

● 浄水カートリッジ

売上高1,417百万円（前年同期比5.9%増）。顧客フォロー強化による定期的なカートリッジ交換により安定的収益基盤を確保。

● インドネシア ボトルドウォーター事業

2023年度のTVCM、SNS広告等のマーケティング強化施策が奏功し、四半期として過去最高売上高を更新。

● 電解水透析事業

本年6月「第69回日本透析医学会学術集会・総会」にて電解水透析関連の発表が9演題。

● ステムセル研究所

保管検体数（さい帯血、さい帯の合計）は四半期過去最高となり、売上高が四半期過去最高を更新。投資有価証券売却益136百万円を特別利益に計上。

2025年3月期 第1四半期 連結業績サマリー

単位：百万円 (百万円未満切捨)	2024年3月期 1Q実績		2025年3月期 1Q実績		増減額	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	4,796	100.0%	5,459	100.0%	662	13.8%
売上原価	1,401	29.2%	1,636	30.0%	235	16.8%
売上総利益	3,394	70.8%	3,822	70.0%	427	12.6%
販売費及び一般管理費	2,840	59.2%	3,050	55.9%	210	7.4%
営業利益	554	11.6%	772	14.1%	217	39.2%
経常利益	592	12.3%	814	14.9%	222	37.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	425	8.9%	568	10.4%	143	33.7%
一株当たり四半期純利益(円)	55.49	—	74.18	—	18.68	33.7%

売上高のポイント

- ・連結売上高 四半期過去最高を更新
- ・整水器、CTRの着実な伸長
- ・インドネシア ボトルドウォーター事業の大幅伸長

売上総利益率の主な変動要因

- ・ボトルドウォーター事業の伸長による売上構成の変化（-）

販売費及び一般管理費のポイント

- ・変動費の増加 +79百万円
- ・人件費 +57百万円
定期昇給及び人員増による増加

特別損益のポイント

- ・投資有価証券売却益 149百万円
(内訳)
日本トリム 12百万円
ステムセル研究所 136百万円

2025年3月期 第1四半期 セグメント別売上高

単位：百万円 (百万円未満切捨)		2024年3月期 1Q実績		2025年3月期 1Q実績		増減額	増減率
		金額	構成比	金額	構成比		
ウォーターヘルスケア	(フロービジネス)						
	DS事業部 (職域販売)	1,106	23.1%	1,170	21.4%	64	5.8%
	HS事業部 (取付・紹介販売)	374	7.8%	370	6.8%	△4	△1.1%
	SS事業部 (店頭催事販売)	118	2.5%	139	2.6%	21	17.8%
	MS事業部 (卸・OEM)	303	6.3%	308	5.7%	4	1.6%
	メンテナンス部門	83	1.7%	84	1.5%	0	0.5%
	リプレイス部門	75	1.6%	99	1.8%	23	31.0%
	WEB販売	103	2.2%	127	2.3%	24	23.3%
	整水器合計	2,165	45.2%	2,300	42.1%	134	6.2%
	(ストックビジネス)						
	カートリッジ	1,338	27.9%	1,417	26.0%	78	5.9%
	(子会社売上)						
	広州多寧健康科技有限公司	27	0.6%	26	0.5%	△1	△4.0%
PT. SUPER WAHANA TEHNO	398	8.3%	765	14.0%	367	92.2%	
(その他)	228	4.8%	255	4.7%	27	11.9%	
小計	4,158	86.7%	4,765	87.3%	606	14.6%	
医療関連	再生医療関連事業	597	12.5%	689	12.6%	92	15.5%
	電解水透析事業	40	0.8%	4	0.1%	△35	△88.6%
	小計	637	13.3%	694	12.7%	56	8.9%
連結合計	4,796	100.0%	5,459	100.0%	662	13.8%	

<日本トリム>

整水器販売

- DS事業部 (職域販売)
コロナ禍収束による営業活動正常化。
スポーツ分野への展開拡大。

カートリッジ

- 顧客フォロー強化により着実に伸長。

<PT.SUPER WAHANA TEHNO>

ボトルドウォーター事業

- 2023年度のTVCM、インフルエンサー活用したSNS広告等のマーケティングへの先行投資が奏功し、四半期売上高過去最高を更新。
- 2023年度TVCM(2月～3月、7月～8月)
2024年度TVCM(5月～9月を予定)

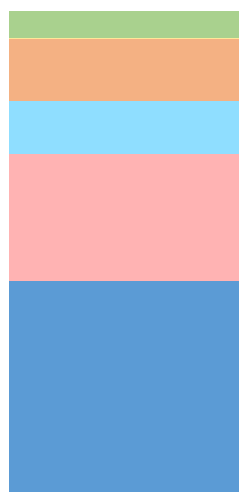
<再生医療関連事業>

ステムセル研究所

- 保管検体数 (さい帯血、さい帯 合計) が四半期過去最高となり、売上が四半期過去最高を更新。

2027年3月期の売上高目標

204億円

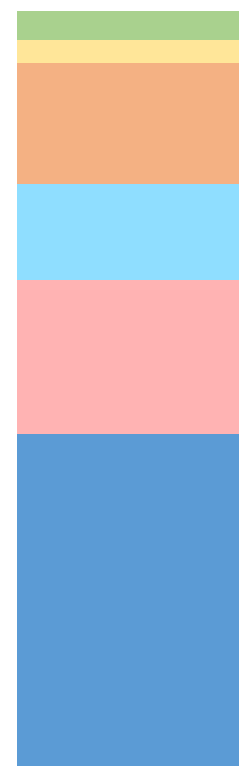


■ その他	: 11億41百万円
■ 電解水透析	: 60百万円
■ 再生医療関連	: 25億76百万円
■ インドネシア	: 22億67百万円
■ カートリッジ	: 53億48百万円
■ 整水器	: 90億20百万円

2024年3月期



320億円



■ その他 + 新規分野	: 14億円
■ 電解水透析	: 10億円
■ 再生医療関連	: 51億円
■ インドネシア	: 40億円
■ カートリッジ	: 65億円
■ 整水器	: 140億円

2027年3月期目標

資本政策の基本方針

「資本効率性」「株主還元」「財務健全性」をバランスよく実現し、株主価値の持続的向上を目指す。
(2022年11月8日改定)

現状認識と今後の対応

- 1 資本コスト 概ね7.5%程度と認識 ▶ 2024年3月期のROEは9.9%
- 2 P B R 2024年3月期末 1.32倍

- ①2024年3月期のROEは9.9%、過去3年の実績平均は9.5%と、安定して資本コストを上回る水準。
- ②PBRは1倍を超える水準であるも、現状株価は割安であると認識。
- ③更なる企業価値向上に向け、まずは中期目標である売上高320億の達成と、M&Aによる新規事業への投資や、市場評価の改善に向けたIR活動の強化、更なる株主還元策の実施に取り組む。

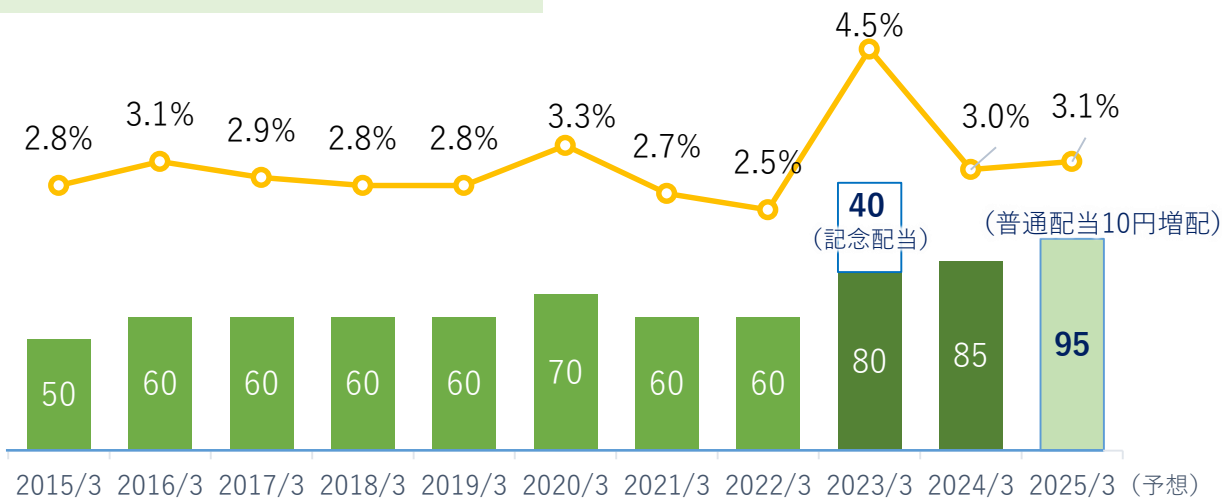
具体的数値目標

1 資本効率性の向上 目標指標：ROE 10%以上

2 株主還元の強化 基準：DOE 3%

※ ROE（自己資本利益率） ※ DOE（株主資本配当率）= ROE × 配当性向

配当金額・DOEの推移



2025年3月期
期末配当予想 **95円** **10円増配**

DOE **3.1%** 配当性向 **29.5%**

※ 会社予想ベース

株主優待制度

※ 2024年6月取締役会により拡充を決定

電解水素水整水器 **40%オフ**
浄水カートリッジ **30%オフ**

ROEの推移

2024年3月期
(実績)
9.9%

2025年3月期
(目標)
10.6%

本資料で記述されている業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。